



カスタムメイドした「エアウィーヴ」が ザ・キタノホテル東京の快眠を支える

(株)エアウィーヴ

2019年4月9日、東京・平河町に開業したザ・キタノホテル東京。長期滞在用アパートメントホテルとして50余年愛されてきた北野アームスを改築して誕生したスモールラグジュアリーホテルは、和の心による「グローバルスタンダードのおもてなし」を提供。全客室に導入されたエアウィーヴは、眠りの面でホテルブランドをサポートする。



「ホテルにとってベッド周りは最も重要です」と言う、ザ・キタノホテル東京/ニューヨーク 北野合同建物(株)代表取締役社長の小池佳子氏

ザ・キタノホテル東京のコンセプトは「ウェルネス」。絨毯や壁紙、家具やアメニティに至るまで、アレルギーにつながる化学物質を含まない素材に徹的にこだわった。ベッド周りの環境づくりにおいてもそのコンセプトをベースに、全72室の客室すべてにエアウィーヴのラインナップが導入された。寝具のすべてをエアウィーヴのアイテムでそろえることで、ウェルネスの訴求につながる快適な睡眠環境を実現している。

約5年前のこと。エアウィーヴのニューヨークの店舗がオープンする際、プレゼンテーションパーティーの会場としてザ・キタノホテルニューヨークのバンケットルームが選ばれ、代表取締役社長の小池佳子氏はエアウィーヴの代表取締役会長兼社長、高

岡本州と出会う。「いずれはザ・キタノホテルニューヨークにエアウィーヴを」と考えていたが、タイミングが合致した東京が先行して導入するに至った。

「日本の技術による特殊な素材を使って快眠と健康を提供するエアウィーヴで、和の心のおもてなしを伝えることができると思いました」と小池氏は言う。

世界中から訪れるお客さまをお迎えするスモールラグジュアリーホテルとしての価値を実感してもらうため、ザ・キタノホテル東京はエアウィーヴの各種アイテムをカスタムメイド。オリジナルの眠りを創り上げた。

グローバルな規格に合わせたビッグサイズのベッドフレームはベッドメイキングの負担軽減のため、引けば簡単

ルームカラーやしつらえについて客室ごとに変化を加え、季節の盆栽を置くなど日本の四季の彩りを感じさせる空間づくり

沈み込むほど柔らかいマットレスに慣れている外国人のお客さまからも「気持ちよく眠れた」と好評



エアウィーヴのカスタムメイドで統一することで、ザ・キタノホテル東京のブランドにふさわしい快眠環境を生み出した



ピローは硬さや素材など十人十色の好みが出ることから、ロフターの協力のもと、何種類かバリエーションを用意。ピローカバーには手術用にも使われる、汗や整髪料などが染み込まない特殊素材を探し出し採用

に動かせる形状の脚を付けた。マットレスとマットレスパッドは特注サイズ、さらに通常のエアウィーヴに比べて柔らかく仕上げた。

デュベについてはアレルギーにつながる可能性のある天然羽毛を避け、エアウィーヴのオリジナル素材であるハイパーダウン(人工羽毛)を採用した。

ピローはエアウィーヴのグループ会社であるロフターが、22回もの試作を重ねることで創り上げた力作。目一杯大きくしたサイズのピローに、枕に最適な種類のポリエステル素材を入れた。

小池氏が着目しているエアウィーヴの特徴の一つに、エコフレンドリーがある。一般的なマットレスは廃棄の際に、分解して中綿と金属のコイルを分別する必要があり、コイル部分は産業廃棄物になってしまう。エアウィーヴ

はリサイクルできる素材なので、エコロジー面でも優れたアイテムと言える。小池氏が考えるサステナブルなホテル経営の在り方とエアウィーヴの親和性は高い。

ザ・キタノホテル東京は最も大切にしている言葉として「快適さを求めてFor Comfort」を掲げる。

「真の快適さとは、人の体に合った素材を使うことだと思います。私たちのホテルは三方が開けた好立地。無機質になりがちな大都会の中で、客室の窓を開けて外気を取り込めることは快適さの象徴です」

北野アームス時代の名残を受け継ぎながら「暮らすように滞在する」ことのできるザ・キタノホテル東京の快適な眠りを、エアウィーヴが提供し続ける。



和の心による「グローバルスタンダードのおもてなし」を表現するフロント

airweave



The Quality Sleep

株式会社エアウィーヴ ホテル事業部
TEL 0564-56-1262
<http://airweave.jp/>